

【一中】人権の時間（命について考える時間）

本文:

入学式でも話していますが、校舎に入られた時、職員玄関の壁に飾ってあるパネルを見られたでしょうか？

中学1年の時に、白血病で亡くなった金高尚矢さんが描いた「笑う」という書です。

このパネルは、尚也さんの同級生とその保護者さんが卒業にあたり作ってくださったもので、パネルの最後には「たった一度しかない かけがえのない大事な時間と 笑顔を忘れずに 一生懸命生きてほしいです」というメッセージが書かれています。

平成27年4月9日の入学式が、一中に登校した最初で最後の一日となりました。

毎年、尚矢さんが亡くなったこの日（5/19）を、いのちについて一人ひとりが考える時間としています。今年は5/19が日曜日だったので、本日（5/20）に取り組みました。

全部の教室を回りましたが、真剣に考えている姿を今年も見ることが出来ました。中には涙している生徒もいました。

命について、考え、感じてくれればと思っています。

